

Case : 323

左右のフットサポートの間に足首が挟まりケガをしそうになる

場面の説明

車いすで過ごしていた時に、左右のフットサポートの間に足首が挟まり、ケガをしそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 リビング・居間
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

足首は筋肉や脂肪組織が少なく、傷になりやすい部分です。外出時には靴を履いているので落ちにくいですが、自宅内で靴下を履いている場合は滑って落ちやすくなります。下肢の麻痺や感覚障害、筋力低下のある人に起こりやすい事例です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：下肢の麻痺や筋力低下でうまく足の位置がフットサポート上に保持できなかった
- 人：靴下がフットサポート上で滑りやすかった
- モノ：左右のフットサポートの間があり、足が落ち込みやすい構造だった
- 管理：介護者の注意が不足していた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 323

左右のフットサポートの間に足首が挟まりケガをしそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

車いすで過ごしていた時に、左右のフットサポートの間に足首が挟まり、ケガをしそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ